



土川内科小児科

〒964-0875

二本松市槻木250-3

TEL : 0243-22-6688

「キビタン健康ネット 利用施設の声」の第13回目は、土川内科小児科 院長 土川研也先生にお話を伺いました。土川内科小児科では、“子どもから大人までご家族皆様の健康をお守りする「かかりつけ医」”を目指して日々の診療をされています。

開院当時、地域で小児科を対応している診療所が少なく、地域のためにと考え小児科を標榜されたそうです。内科では、慢性疾患を中心に糖尿病、高血圧症、高脂血症の患者さんが多い中で丁寧な対応を心がけており、生活習慣の改善を促されているそうです。

土川先生が会長を務める安達医師会では、施設がん検診に「キビタン健康ネット」のサービスの一つである「安達医師会 検診読影システム」を利用されています。今回は、

「検診読影システム」を中心にお話を伺いました。

◇「安達医師会 検診読影システム」のはじまりについて

安達医師会で読影が始まった当初は、安達医師会館に先生方が集まって読影を行っていました。各医療機関からUSBで患者さんのデータを医師会館に持ち寄り、事務局職員が登録して読影するという手順で行っていました。しかし、データを持ち歩くことによる紛失リスクが高まる点や、事務局で登録の手間がかかる点、そして先生方が日程を調整して集まることの大変さなどが問題になりました。そこで、独自のネットワークを構築して、各医療機関からサーバーに直接アクセスできるシステムへ移行する流れになりました。これにより、医師会館に集まらずに各医療機関から検診データの登録や読影が可能になりました。先生方の都合の良い時間や手の空いた時間に、自施設にいながらの作業が可能になったことで、時間の節約に繋がって参加して

キビタン健康ネット 利用施設の声

第13回



いる先生方の負担が減りました。

独自のシステムで数年運用していましたが、サーバー管理の問題や、ガイドラインに沿った高いセキュリティのネットワーク化について福島県医療福祉情報ネットワーク協議会に相談したところ、「キビタン健康ネット」の回線を利用して、「検診読影システム」を利用できるとご紹介いただきました。その後2016年より、「キビタン健康ネット」の一部の機能として「安達医師会 検診読影システム」が開始されました。

◇検診読影システムをどのように使っていますか。

「検診読影システム」は、管内の施設がん検診で利用しています。

「キビタン健康ネット」の回線を利用するようになってからは、高いセキュリティ回線になり安全性が向上しました。また、「キビタン健康ネット」では、患者さんの診療情報共有ができるため、「検診読影システム」と併せて活用できます。福島県全域のネットワークに参加した上で、その中の一部の機能として「検診読影システム」が利用できるようになったという点で利便性が増えました。

◇今後、どのようなことを期待していますか。

私たちが利用している「検診読影システム」は現在でもほぼストレスなく使っていますが、登録やダウンロードの通信速度がもう少し速くなると、より快適に使いやすくなります。また、採用する郡市医師会が増えれば増えるほど利用料（現在でも以前の半額程度です）が安くなりますので、利用する郡市医師会が一つでも増えることを願っています。

「キビタン健康ネット」の病診連携に関しては、情報提供施設で、より活発に利用されることを期待しています。各医療機関でデジタル推進に関わる職員が活発に活動される事

で、医療機関間の連携が進みやすくなりますし、国の方針もデジタル化を重点的に進めるとの事ですのでご検討ください。

また、現在のコロナ禍においては感染症に関する情報共有が感染拡大防止に有効な対策の一つだと思われますが、現在はその情報の入手ができません。医師限定で発生エリアに関する詳細な情報を共有するシステムを「キビタン健康ネット」を利用して構築することで、日常診療での診断や感染症対策に有効活用できますので、早期に実現することを期待しています。

このような地域医療連携ネットワークは、利用者数が増えるほど便利になります。一方、県民には、特に救急時に活用できるシステムだという点をもっと理解していただけると、「キビタン健康ネット」に参加しやすくなるのではないかと考えています。利用者、参加施設が増えて「キビタン健康ネット」がさらに充実していくことを願っています。



院長 土川 研也 先生
土川先生ありがとうございました。

（レポート 後藤）

